



本年度をもって定年を迎えられる先生から

一つの節目として

ご挨拶とメッセージをいただきました



定年のご挨拶

昭和大学病院 緩和医療科 よこやま かずひこ 横山 和彦 准教授

2022年4月に24年ぶりに昭和大学病院に戻って参りまして2年あまりでの定年退職となりました。緩和医療科の診療科長として多くの臨床医やスタッフや患者さんに支えられながら職務を行えたのではないかと思います。

一区切りの後、引き続き現職を行なう機会を頂きました。様々な苦痛を抱えている方々のお力になればと思い頑張っ参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



～ 医師人生を振り返って ～

「 一 期 一 会 」

平成元年に医師となり、そのときは産婦人科医として歩き始めました。関連病院や昭和大学病院で多くの指導者に教を請い、研鑽しました。2001年昭和大学横浜市北部病院の開院スタッフとして医局の立ち上げに関わったこと、その後昭和大学藤が丘病院で臨床研修医制度が始まり多くの研修医と接することができたこと、そしてなにより素晴らしい恩師や同僚、後輩の先生方に医師にして頂いたことなどなど良い出会いが多くあったように思います。

50歳を前にしていろいろ悩んだ末に第二の人生となる緩和医療を専門として再度スタート地点に立ちました。別れのある出会いにいろいろ考えさせて頂きました。こちらでは同僚やスタッフだけでなく患者さんから多くの事を教えて頂きました。

人生の始まりとそして終末期に寄り添う事ができて幸せだったと思います。

ご紹介

定年者のご紹介

ご挨拶いただいた先生以外にも、次年度以降もご勤務されますが、定年を迎える先生がいらっしゃいますので、一つの節目としてご紹介させていただきます。長きにわたる昭和大学病院でのご勤務、感謝申し上げます。



昭和大学病院

- 呼吸器・アレルギー内科 相良 博典 教授
- 小児科 加藤光広 教授

ご紹介

医学部教授 最終講義のご紹介

定年を迎える呼吸器・アレルギー内科 相良博典 教授の最終講義が開催されます。

本学の教育職員等関係者を聴講対象とさせていただいておりますが、この場を借りてご紹介させていただきます。

お問い合わせ先
昭和大学学事部学務課
TEL : 03-3784-8022

2023年度 昭和大学医学部教授会主催

医学部教授 最終講義

2024年 3月 16日(土)
14:00~16:50
昭和大学上條記念館1階
上條ホール

先生方の長年にわたる研究・教育・臨床の分野での多大なご貢献に心より敬意を表し、最終講義を開催いたします。皆様方におかれましてはご多用のこと存じますが、ご来聴くださいますようお願い申し上げます。なお、花束贈呈は、代表者のみとさせていただきます、お願い申し上げます。会場では感染拡大防止の対応にご協力ください。(不織布マスク着用・手指消毒・席間隔保持等)

問い合わせ先
昭和大学学事部学務課 TEL 03-3784-8022
各演者所属教室

14:00 開会の挨拶 久光 正 昭和大学 学長

14:05~14:50
「散りぬべきとき知りてこそ」
宮崎 章 教授 (生化学講座)

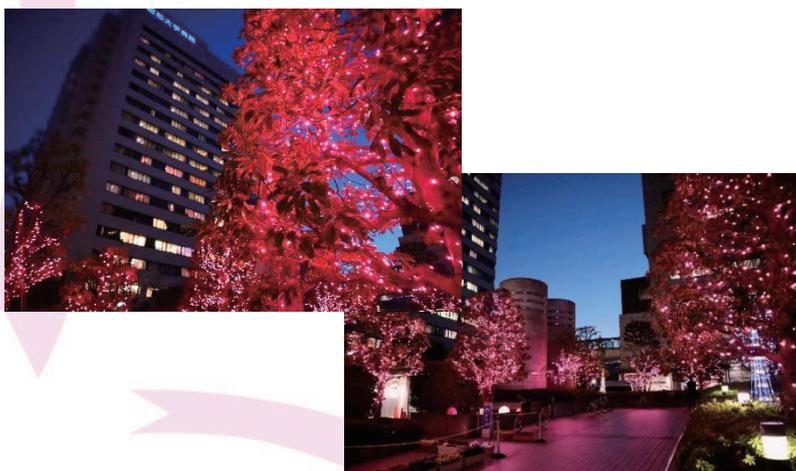
15:05~15:50
「Ars longa, vita brevis に関する、polyphonic的示唆と超克の視座」
相良博典 教授 (内科学講座呼吸器アレルギー内科学部門)

16:05~16:50
「心と脳」
岩波 明 教授 (精神医学講座)

16:50 閉会の挨拶 医学部長 小風 暁 教授

予告

さくらイルミネーションを行います



3月より、昭和大学病院中央棟正面玄関において、患者サービスの一環としてさくらを模したイルミネーションを開始予定です。

ご来院の際は、ぜひご覧ください。※写真は去年の様子です。



当院での食事は、医師の指示により病状にあった献立とし、行事食を取り入れた温かい食事を提供しております。3月は「ひなまつり」を予定しております。今後も季節に合わせた行事食をご提供してまいりますので、ご紹介いたします。

※写真は昨年のものです。



令和6年能登半島地震に伴い (日本医師会災害医療チーム)JMAT を派遣しました

東京都医師会からの要請を受け、「令和6年能登半島地震」の被災地支援のため、昭和大学病院からJMAT隊1チーム(医師2名、看護師2名、業務調整員1名)が出動しました。

2月13日に昭和大学病院を出発し、参集拠点であるJMAT能登北部調整支部(石川県鳳珠郡穴水町にある公立穴水総合病院)にて14日(水)から17日(土)の期間、活動しました。



荷物積み込みの最終確認



出動したJMAT隊(左から看護師:田畑慶喜、業務調整員:片桐江美子(診療放射線技師)、看護師:小山愛樹、医師:菊地一樹)



出動の様子



出動の様子

1月29日(月)、当院職員に対する品川消防署からの感謝状贈呈が行われました。

これは、2023年11月11日(土)19:30頃、品川区東品川において、心肺停止状態に陥り生命の危機に瀕していた傷病者に対し、当院循環器内科医師による迅速・適格な応急救護が実施された結果、救命に至ったものです。

本件に関して、品川消防署より当該医師に対してその功労を称え、感謝状が贈呈されました。



感謝状を受け取る循環器内科 塚本 医師 (左)



集合写真

(左から：小林 副院長、臨床研修医 大島 医師、循環器内科 塚本 講師、品川消防署 堀川 署長、循環器内科診療科長 新家 教授)

ご紹介

院内無料 Wi-Fi のご利用について


FREE Wi-Fi

院内で無料Wi-Fiが利用できます。

SSID : Showa_Hospital-FREE-WIFI

パスワード : showa#8000

【ご利用にあたっての注意点】

- ・端末の設定等は使用者ご自身でご対応ください。
- ・利用規約に基づき無線LAN利用によって生じたあらゆる損害・不利益・トラブルの他、設備やネットワーク障害等により予告なく利用が出来なくなった場合についても当院では一切の責任を負いません。



QRコードを読み取ることで
入力を省略できます。

 昭和大学病院

院内でご利用いただける無料Wi-Fiについて、ご紹介させていただきます。外来と入院病棟のいずれでも接続可能となっておりますので、院内での待ち時間などに、ぜひご利用ください。

上記のQRコードを読み取ることで簡単にご利用いただけます。QRコードの読み取りがうまくいかない場合には、Wi-Fi名とパスワードを入力することでもご利用いただけます。左のポスターは院内各所に掲示しておりますので、お気軽にご利用下さい。



お知らせ

エマルゴコース研修を開催しました

2月3日(土)昭和大学病院・附属東病院にて、「エマルゴコース研修」を開催いたしました。エマルゴコース研修とは、人形や医療材料を模したグッズを用いた机上災害訓練で、当院での開催は令和元年度ぶり5回目となります。今回は、院内の教育職員31名と、全国から集まっていたインストラクターの方々とともに行なわれました。

今回の訓練では、震度6の地震が発生し、その影響により、大井町駅付近で京浜東北線の脱線衝突事故が起こるという想定で行われました。

本研修は、自分の所属部門以外の部署の動きを経験することができます。参加者の事後アンケートでは、「災害時に必要な情報、共有すべき情報について理解が深まりました。」「他部署との連携方法や必要性が理解できた。」などの感想が多くあがりました。

地域の災害拠点病院として、災害発生時には的確かつ迅速な対応が求められるため、今後もこのような災害訓練を行ない、災害対策の意識を高めてまいります。



お知らせ

医師の配属・異動・退職について

新規配属

- 学外施設から(2024年3月20日付)
- リウマチ・膠原病内科 猪狩雄蔵

異動

- 附属施設へ(2024年3月1日付)
- 血液内科 佐藤友哉(江東豊洲病院へ)
 - 糖尿病・代謝・内分泌内科 竹鼻伸晃(江東豊洲病院へ)

退職

- 2024年2月29日付
- 耳鼻咽喉科 丸山祐樹
- 2024年2月15日付
- 血液内科 佐原寛隆



当取り組みは、昭和大学病院・附属東病院において関係職種間での行動（臨床に関する事項）を相互にプラス評価することにより、関係部署との連携を良好にし、**チーム力を高めること**で患者さんにより良い医療を提供することを目的としております。

東病院管理課から医師へのありがとう！



眼科医局の医師のみなさん

眼科医局の医師のみなさんへ

電子カルテ claiο の操作方法や眼科特有の手術オーダーが不明な時に丁寧に教えてくださりありがとうございます。

【患者さんに与えた良い影響】

医師事務作業補助者が医師の事務的サポートをしているので、医師は丁寧な医療を提供できています。また、待ち時間の短縮にも貢献しています。

精神神経科医局の医師のみなさんへ

各種官庁からの問い合わせ、外来の患者さんの対応について主治医の先生だけでなく、診療科の先生方がチーム一丸となってサポートをしてくれております。そのため、色々な問い合わせや相談に迅速に対応することができています。

【患者さんに与えた良い影響】

チーム力でサポートしていただいている為、患者さんの受け皿も広く安心して受診していただいています。



精神神経科医局の医師のみなさん

皮膚科医師から薬剤部へのありがとう！



薬剤師のみなさん

薬剤師のみなさんへ

皮膚検査(パッチテスト、内服テストなど)の試薬の準備をしていただいています。

【患者さんに与えた良い影響】

使用できる薬剤の選定ができ、薬疹のリスクを下げることでできています。

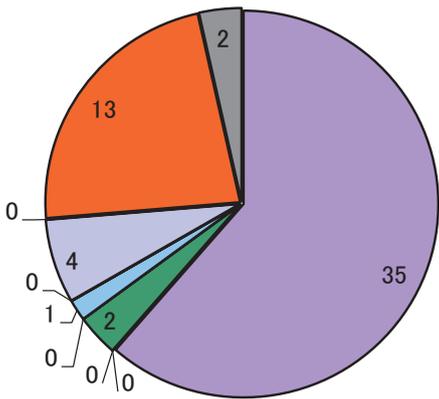


日頃よりチーム医療にご協力頂きありがとうございます。
今後とも、よろしくお願いいたします。



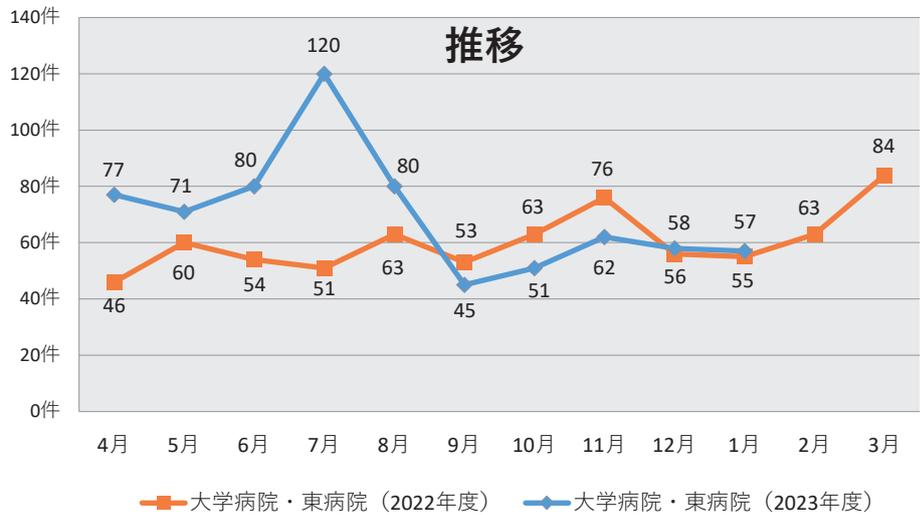
ご意見・ご要望	回答	回答部署
<p>本日診療に伺いましたが受付番号が通しになり、分かりにくくなっていました。今まではN何番という風になっており、診察時刻の目安がつき分かりやすかったので、元に戻すことはできないのでしょうか。</p>	<p>ご不便をおかけし大変申し訳ございません。受付番号の発番形式変更につきましては、以前の発番形式では複数の患者さんに同じ受付番号が発番され、隣接する診察室への誤入室が発生するという問題がありました。このような誤入室を防止する為、受付番号の発番形式を通し番号に変更いたしました。お手数をおかけし大変申し訳ございませんが、受付窓口にて診察順をご案内しておりますので、受付窓口にお問い合わせください。</p>	<p>医療情報室</p>
<p>患者に寄り添うリハビリでした。優しい先生方に感謝しております。手術後ほぼ寝たきりになった94歳の父を毎日2回も親身にリハビリしていただき、歩けるようにしていただきました。父も喜び家族も喜んでいきます。心から感謝いたします。昭和大のリハビリ素晴らしいです。</p>	<p>お礼のお言葉ありがとうございました。無事に退院されて、日々の生活に戻ることができ、嬉しい限りです。今後もリハビリテーションスタッフ一丸となって、患者さんのために期待に応えられるよう頑張っていきたいと思っております。</p>	<p>リハビリテーションセンター</p>

2023年3月号掲載分
ご意見・ご要望の内訳
昭和大学病院・東病院総件数
57件



- 態度・接遇
- 診療内容
- 予約
- 待ち時間
- 食事
- 会計システム
- 売店
- 環境(清掃・設備備品・エレベーター)
- 環境(駐車場)
- 感謝
- その他

2022年度・2023年度ご意見・ご要望の推移





3 月上旬に中央棟 1 階 正面玄関にて季節の飾り付けを行います。

今回のテーマは **春** の予定です。

今後も季節に合わせて、飾り付けを行う予定です。ご来院の際は、ぜひご覧ください。

※写真は昨年の様子です。

2023 年度の病院だよりも最終号を迎えます。子供のころから 3 月は別れと出会いの月であることを寒さが緩んだ春の風と共に感じていました。大学病院においても多くの人事異動があります。慣れたスタッフが異動することに戸惑う患者さんの姿をみてきましたが、これまで日本の医療には担当者や主治医が常に担当する、という文化がありました。しかし、この春の働き方改革でそのような文化にも転機が訪れるのかもしれない。今後ともチームで患者さんや地域の期待にしっかりと応えていきたいと思えます。

昭和大学病院・附属東病院の理念

- 患者本位の医療
- 高度医療の推進
- 医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- 患者さんと共にチーム医療を実践する。
- 特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- 教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- 人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

※記事見出しの色分けについて

病院だよりでは、見出しに色分けをすることで読者の皆さまが読みやすいよう工夫をしております。

黄色見出し：患者さん、患者さんのご家族向け

青色見出し：医療関係者向け

緑色見出し：医師の配属・異動・退職について

病院広報委員会委員：入山 洸希、大江 克憲、大内 久美子、岡崎 靖子、鷺見 賢司、富田 英、並木 美加子、蜂須賀 綾香、林 直輝、本寺 哲一、村上 秀友、山岸 昌一、山下 剛史、吉田 仁、渡邊 聡（50 音順）



昭和大学病院

検索



昭和大学病院附属東病院

検索

発行 昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院

発行責任者 昭和大学病院長 相良 博典

編集責任者 広報委員長 山岸 昌一

〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8

TEL：03-3784-8000（代表）